

### 新潟歯学会雑誌編集規定

1. 本誌に発表する論文は、本会の目的に達し、未公刊のものに限る。また、本誌への投稿は本学会会員に限る。ただし編集委員長が認めた場合はその限りではない。
2. 本誌の欄を次のように分ける。総説、原著、臨床、臨床病理検討会レポート、最近のトピックス、学会抄録、その他。
  - (1) 総説は編集委員会の依頼によるもので、原則として 400 字詰 50 枚程度 (図表を含む) とし、掲載料は無料とする。
  - (2) 原著は印刷頁 4 頁 (図表 3 コ以内) までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
  - (3) 総説、原著以外は、印刷頁 2 頁 (図表 3 コ以内) までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
  - (4) 学会講演抄録は新潟歯学会の総会および例会の講演抄録とする。
  - (5) 掲載は原則として受付順とするが、原稿の採否および編集は新潟歯学会雑誌編集査読委員会に一任されたい。

### 新潟歯学会雑誌投稿規定

1. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙に平かな、現代かなづかいを用い、わかりやすい文章で横書き、楷書でかく。  
 ワードプロセッサ使用の場合は A 4 版用紙に 25 字×45 行の 1,125 字で印字する。  
 表題、著者、所属 (主任、指導者名) を和文、英文でつける。  
 特別な術語以外は、当用漢字の範囲にとどめ、区切句読を明らかにし、改行の際は 1 字さげて書き始める。  
 5 語以内のキーワード (和語または英語) を記入する。  
 原著および臨床論文においては目的、方法、結果および結論を 400 ~ 600 字にまとめた和文抄録ならびに 250 語程度の英文抄録をつける。  
 原稿と抄録に加え、それらと同一内容を記録した電子媒体 (フロッピーディスク、CD、MO) を添付する。添付の条件については別に定める。

2. 英文原稿は、A 4 版タイプ用紙を用い、ダブルスペースでタイプする。  
 表題、著者、所属 (主任、指導者名) を英文、和文でつける。  
 5 語以内のキーワード (英語) を記入する。  
 なお、原著および臨床論文においては 250 語程度の英文抄録ならびに 400-600 字程度の和文抄録をつける。  
 電子媒体の添付については前記 1 に準ずる。
3. 原稿は、校正刷りにおいて内容の改正を要しないように充分推こうの上提出されたい。  
 なお、著者による校正は、原則として 2 校までとし、その際には字句の著しい変更、追加、削除は認められない。
4. 外人名は原名綴りのままでかき、その他の外国名は原字または片かなでかくこと。わかりやすいブロック体 (またはタイプ) とする。
5. 表、図 (写真含む) は、それぞれ用紙サイズをそろえて B 5 版または A 4 版用紙を用いて 1 枚に 1 点ずつ明瞭に作成し、縮小率を明記すること。図・表挿入箇所を本文欄外に朱書する。図・表の最大印刷寸法は別に定める (投稿の手引きをご覧ください)。  
 総説におけるカラー写真は 1 頁までを無料とし、総説以外のカラー写真は著者負担とする。
6. 引用文献は引用順に番号を付し本文のおわりにまとめ、次の記載法による。  
 雑誌 : 著者名 (欧文名は、Medline に準ずる)、表題、雑誌名 (正式な略誌名、たとえば日本医学図書館協会目録および Index Medicus による誌名を使用)、巻、頁 (始めと終りの頁)、年。  
 1) 藤田恒太郎 : 歯の計測基準について、人類誌, 61 : 27-32, 1949.  
 2) Schultz-Hautdt SD and Scherp HW : The production of chondrosulfatase by microorganisms isolated from human gingival crevices. J Dent Res, 35 : 299-307, 1956.  
 単行本 : 著者名、書名、版、引用頁、発行社、発行地、発行年。  
 3) 秋吉正豊 : 歯周組織の構造と病理. 274-277 頁, 医歯薬出版, 東京, 1968.  
 4) DeRobertis EDP, Nowinski WW and Saez FA : Cell biology. 4th ed, p 166-185, WB Saunders Co, Philadelphia and London, 1965.  
 5) 中尾 真 : 膜の機能. 「生体膜の生化学」小田琢三, 佐藤了, 中尾真 (編), 64-65 頁, 朝倉書店, 東京, 1969.  
 6) Bowen WH : Dental caries in monkeys. In advances in oral biology, ed Staple PH, Vol 3, p 185-216, Academic Press, New York and London, 1968.  
 省略のピリオドは省く。  
 英文原稿における引用文献も和文原稿に準じるが、和文引用文献は最後に (in Japanese) を付記する。
7. 度量衡の単位は、m, cm, mm,  $\mu\text{m}$ ,  $\ell$ ,  $\text{ml}$ ,  $\mu\ell$ , kg, g, mg,  $\mu\text{g}$  等を用いる。

8. 本誌掲載の著作物の著作権、複製権および公衆送信権は新潟歯学会に帰属する。

9. 原稿の送り先

〒 951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地  
新潟大学歯学部内  
新潟歯学会編集幹事 宛

## 投稿の手引き

〈投稿票について〉

論文投稿時に投稿票を添付して下さい。投稿票は、新潟歯学会誌の巻末、あるいは演題登録ページ (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/genkou.html>) の原稿投稿票のサイト (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/genkou.doc>) にありますので記入し、論文と一緒に提出して下さい。特に筆頭著者と連絡担当者が異なる場合は、連絡先を忘れず記入して下さい。また、別刷の希望、著者負担分請求方法についても記入して下さい。

〈承諾書について〉

論文投稿時に著作権に関わる委任承諾書を提出して下さい。用紙は投稿票と一緒に会誌巻末か、原稿投稿票のサイト (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/syoudaku.doc>) にあります。

〈デジタルデータの添付について〉

新潟歯学会では、投稿原稿ならびに抄録と同一内容を記録したデジタルデータを添付することになっております。データは CD-R 保存を基本としていますが、その他の媒体を希望の方は編集係までお尋ね下さい。**メールやホームページからの投稿は、受け付けておりません。**

〈入力・投稿時の留意事項〉

1. ファイルは英文抄録、本文、文献、(付表、付図: MS Word や一太郎の場合) を一つのファイル (保存形式を明記) とした方が便利ですが、付表、付図を別のソフト (MS, Excel, MS Power point, Adobe Photoshop など) で作成した場合は、保存形式を明記して別ファイルとしても結構です。図や写真は、出来れば TIFF 形式で保存し、低解像度に注意して下さい。

ファイルはわかりやすい名前 (投稿者氏名\_原稿、投稿者氏名\_付表、投稿者氏名\_付図など) をつけて下さい。

2. 投稿者の氏名、所属、タイトルおよび記録方式を CD-R 表

面に明記して下さい。投稿データについては、本文は MS Word, または一太郎, 表については MS Excel または MS Word, 写真および図は TIFF で作成して下さい。

使用した PC の OS を明記して下さい。

Mac OS 8, Mac OS 9, Mac OS X.

Windows 98, 98SE, Me, 2000, XP (sp を含む), Vista (sp を含む) など。

Windows Vista の場合、字形が変わる、または抜ける文字があります。

OS に関わらず**必ず出力紙 (紙媒体) を添付して下さい。**

3. 事前にファイルの整理を行い、不要なデータが残っていたり、必要なデータが抜けていたり、データの順序がバラバラであったりしないようにして下さい。

4. ファイルのリストを添付して下さい。データの順序が異なる場合は、リスト上に番号をつけて下さい。

5. データは必ずバックアップをとって下さい。

6. 数字・英文は半角で入力し、字詰めは一定にして下さい。

7. 改行マークは、段落の最後のみに入力して下さい。

8. 外字 (JIS 第一水準, 第二水準以外の文字) および修飾文字は、出力の際に正しく出ませんので、校正原稿で赤字で記入して下さい。

9. CD-R は、傷めることのないようケースに入れて、ボール紙で包むなどして下さい。

〈図表の大きさについて〉

図・表の最大印刷寸法は、16.7×20.5 cm です。これは、A4 版での最大寸法ですので縮小率記入の際にご注意下さい。

〈英文抄録等について〉

和文論文では、和文題名、和文著者名、英文題名、英文著者名、英文抄録・和文抄録、本文の順に掲載し、英文論文では、英文題名、英文著者名、英文抄録、和文抄録、本文の順に掲載します。原稿の順番をこれに揃えてご提出下さい。

〈別刷りにについて〉

1. 別刷りは、すべて著者負担になります。別刷りの希望数、表紙付きか否か等が投稿時に不明な場合は、必ず最終校正までに申し込んで下さい。

2. 別刷り希望の場合、最少部数は 50 部です。